

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	AIJYU松沢
------	---------

公表日 2026年1月31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	くつろぎルームやブレイルーム、相談室、学習室など様々な部屋を使い、十分なスペースが確保されています。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	職員の配置数以上の人数で対応しています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	静かに過ごすくつろぎルームや、体を動かすブレイルームなど分かりやすく部屋が分かれています。	玄関先にはスロープが設置してあるが、事業所内は手すりがないです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	噴霧器を設置したり、毎日の点検や清掃を行い、施設内の環境を整えています。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	その時に応じて、個別の部屋を確保できる環境になっています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	毎日のミーティングで、振り返りを行い今後の支援について話し合っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	すぐに業務改善に繋げ対応しています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日のミーティングの中で、職員一人一人が自分の意見を話せる場があり、業務改善に繋げています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		外部評価を行っていません。今後検討していきたいと思っています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	外部での研修に参加したり、事業所内でも研修を行っています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	ホームページにて支援プログラムを公表しています。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	定期的にアセスメントを行い、話したこととともに職員間でも話し合い計画を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	常に情報を共有して、職員全員で話し合いをしています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	必要に応じて担当者会議を行い、共有して支援をしています。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	利用者の方に何か変化があれば、その都度情報共有をして確認を行っています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	職員間で話し合い、支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	職員全員で考えています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	発達状況に合わせた課題設定になるように、確認を行い工夫して活動プログラムを考えています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	AIJYU松沢
------	---------

公表日 2026年1月31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	職員で話し合い、個別活動、少人数活動、集団活動になるように職員間で確認を行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	朝のミーティングの時に、打ち合わせを行っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	反省と振り返りを行っています。	その日に打ち合わせが出来るよう努めているが、次の日のミーティングになることがあります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	ケア記録に細かく支援に関するこについて記載しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	モニタリングを行い、ミーティングで見直し共有しています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9	0	4つの基本活動の組み合わせを行っています。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	工作活動では、本人の気持ちを大切にして色や形の選択が出来るように準備しています。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	何か気にかかることがあると、関係機関に連絡をして会議を行っています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	必要に応じて協力医療機関と連携しています。	連携しているが、体制が整っているかは不十分な感じを受けます。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	常に学校等と情報共有を行い、トラブル発生時には、すぐに対応できるようにしています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4	相談員が間に入り行っています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	相談員を通して情報共有をしています。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイトや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	6		行っていません。機会があれば行いたいと思っています。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	7		行っていません。機会があれば行いたいと思っています。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	6		行っていません。機会があれば行いたいと思っています。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時やLINE、電話などを通じて発達状況を共通理解できるようにしています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5		ペアレンツトレーニングや家族などが参加できるような研修は行っていません。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	AIJYU松沢
------	---------

公表日 2026年1月31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に説明を行い、変更等があれば手紙や連絡帳で知らせています。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	モニタリングを通して、保護者の方の意向を確認する等しています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	必ず説明を行っています。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	普段から送迎時やLINE等を通して、情報共有を行い、面談などを行っています。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	0	年に4回お茶会を開催し、保護者同士や兄弟同士の交流が出来る場を設けています。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情が出た場合、すぐに職員で話し合い電話や面談にて適切に対応しています。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	インスタグラムやHUGシステム、おたより等を通して情報を発信しています。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報の取扱いに気を付けるために、職員間で声を掛け合い十分注意しています。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	視覚教材を用いて、特性にあった意思疎通が出来るように心がけています。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	ボランティアを受け入れ、近所の会社へ松ぼっくりを拾いに行かせていただきたり、公民館祭りに参加する等交流しています。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	研修や訓練を実施して、HUGシステムやインスタグラム等を通して知らせています。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	AED講習等を専門の方を呼んで行っています。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	保護者の方よりお知らせをいただき、把握しています。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	保護者の方からお聞きして把握しています。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	事業所内で研修を行い、安全管理に努めています。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	おたよりやインスタグラム等を利用して、事業所内の様子を公開しています。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	危険な場面があった場合には、報告書を記入し、ミーティングで情報を共有し、対応策を考えています。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	外部研修や内部研修を行い、対応しています。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	契約時に説明を行っています。	